

「ばしふいっくびいなす」寄港で賑わう

平成26年9月8日(月)に、昨年に続いて、クルーズ客船「ばしふいっくびいなす」が、鳥取港発着の「山陰海岸ジオパーク遊覧とランチクルーズ」と「山陰海岸・隠岐の島 二つの世界ジオパークを巡る旅3日間」のツアーにより、鳥取港に入港しました。

当日は、接岸した1号岸壁で、鳥取港クルーズ誘致推進会議(地元自治会、観光関係者、市町村、鳥取港振興会で組織)及び、今回初めて募集した「鳥取港クルーズサポーター」(ボランティア7名)を中心に入出港時の歓迎行事等を行い、子どもから大人まで多くの市民の方が歓迎・お見送りのため、岸壁に足を運ばれ、大いに賑わいました。



オレンジ色のベストで歓迎行事をお手伝いいただいた「クルーズサポーター」の皆様、ご協力いただき、ありがとうございました。



山陰海岸ジオパーク遊覧とランチクルーズ



藤縄 鳥取商工会議所会頭挨拶



逢鷺太鼓連の勇壮な演奏



花束贈呈



河原あゆっこ園による「よさこいソーラン」

株式会社農協観光鳥取支店が客船「ばしふいっくびいなす」をチャーターして行う鳥取港発着「山陰海岸ジオパーク遊覧とランチクルーズ」が、県外客230名を含む乗船客300名を乗せて9月8日(月)に鳥取港を出港しました。

出港セレモニーでは、鳥取商工会議所の藤縄会頭(鳥取港振興会副会長)から、乗船客に向けて、「船上からの山陰海岸ジオパークの眺望を存分に楽しんでいただきたい」とのご挨拶をいただきました。お土産の記念煎餅や花束が、由良船長、株式会社農協観光塚田鳥取支店長等へ贈呈された後、可愛らしい河原あゆっこ園園児による「よさこいソーラン」やしゃんしゃん傘踊りが披露されました。出港時には、逢鷺太鼓連の和太鼓が打ち鳴らされる中、岸壁から緑のハンカチを振ってお見送りしました。

山陰海岸・隠岐の島 二つの世界ジオパークを巡る旅3日間

鳥取・島根両県の二つの世界ジオパークの認知度向上と周遊観光ルートづくりを目指し、鳥取港と隠岐を結ぶクルーズ(2泊3日)を、株式会社農協観光が、両県の支援も受け企画・実施され、9月8日(月)夕方、県外客130名を含む乗船客270名を乗せて鳥取港を出港しました。

出港セレモニーでは、林副知事の歓迎挨拶の後、しゃんしゃん傘踊りや鳥取商業高校のマーチングバンド演奏で乗船客を歓迎し、出港時には、岸壁に集まった市民が二十世紀梨をイメージした緑のハンカチを振って出港を祝しました。

ツアー中は、天候にも恵まれ、多くの参加者に、隠岐の国賀海岸などダイナミックで美しい自然や史跡等をご覧いただき、優雅で満足度の高いクルーズの旅を楽しんでいただきました。

(アンケートでは、9割以上のお客様が満足・やや満足と回答)

船内でも、両ジオパークの紹介と郷土芸能(隠岐民謡、岩美龍神太鼓)が披露されるなど、両地の魅力を発信することができました。

一方、集客面では課題が残り、発着クルーズ事業の難しさも感じる結果となりました。



林副知事の挨拶



由良船長の挨拶



塚田農協観光鳥取支店長の挨拶



鳥取市観光協会連によるしゃんしゃん傘踊り



緑のハンカチを振ってお見送り



鳥取商業高校吹奏学部によるマーチングバンド